

兒こ雷らい也や豪傑ごう譚たん
 下したの卷まき
 三さん篇ぺん

^13
 3878
 46





Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a play script or commentary, located below the illustration on the left page.



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a play script or commentary, located below the illustration on the right page.



山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣

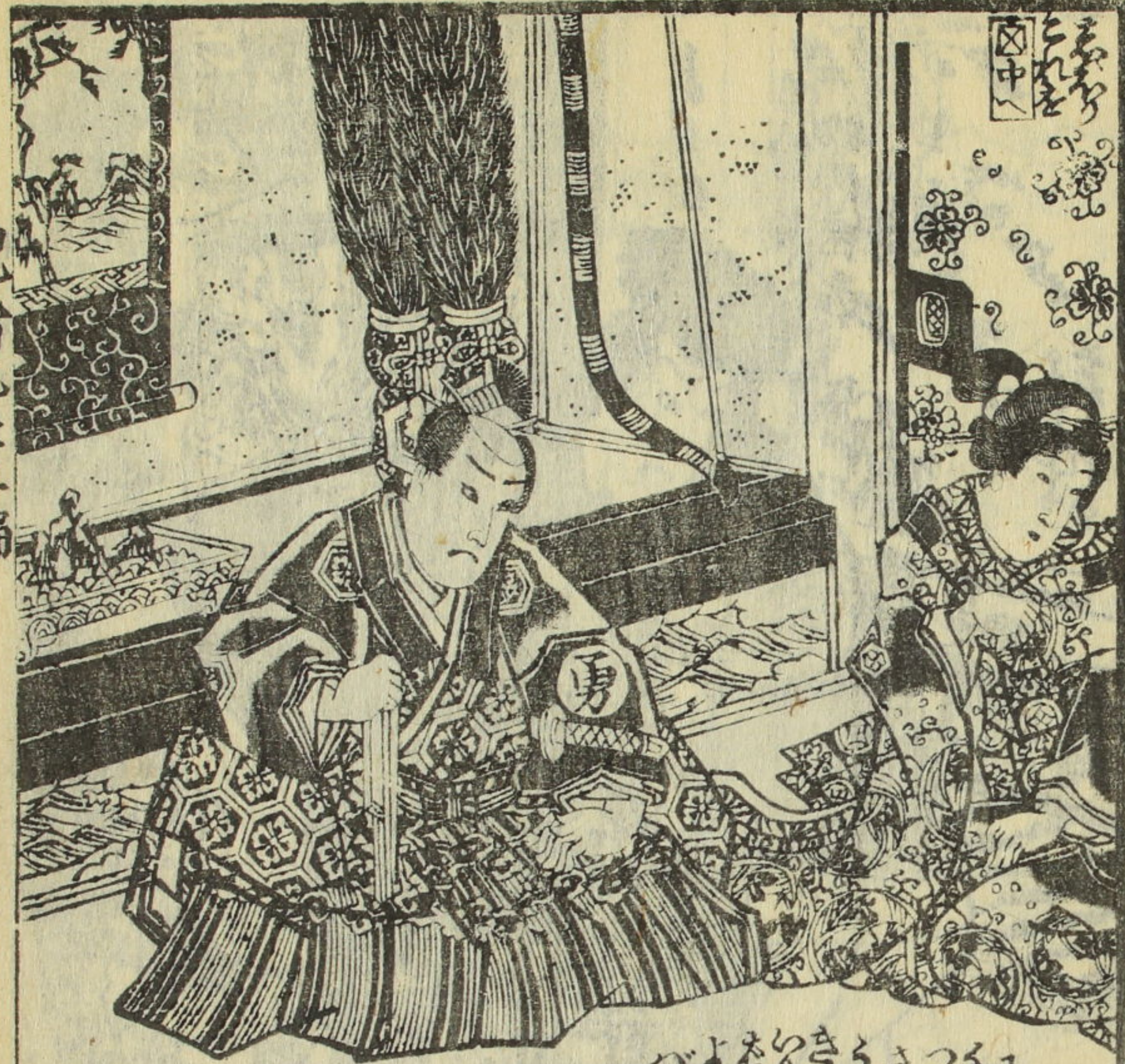
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣



山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣

山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣

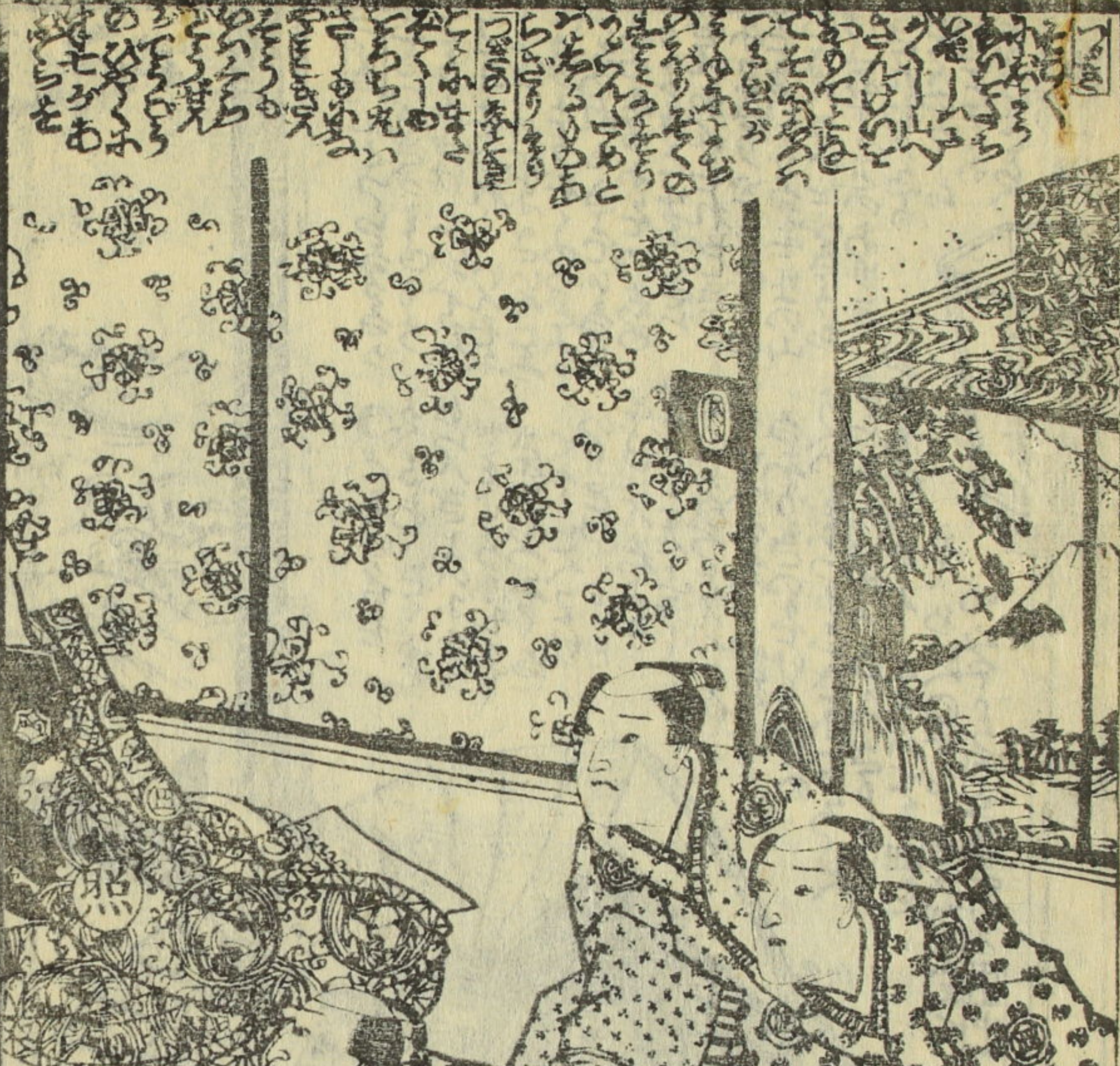
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣
山崎の陣



中

女郎花五色石臺 七六
 黄金水大尺盃 初ええ
 照手松標月鹿毛日
 いづれ引つて出さん仕せり
 出来はらんの松標月鹿毛

夫の身の上は
 なるまじき
 つらきもの
 さをいひて
 うきとて
 りとて
 をいひて
 まをいひて
 せをいひて
 せをいひて



中
 夫の身の上は
 なるまじき
 つらきもの
 さをいひて
 うきとて
 りとて
 をいひて
 まをいひて
 せをいひて
 せをいひて

夫の身の上は
 なるまじき
 つらきもの
 さをいひて
 うきとて
 りとて
 をいひて
 まをいひて
 せをいひて
 せをいひて

種員作國輝画



此文猶之

ついでに

青洲書

高任
義身
軍
七
登
九四編
説

一 兎雷也豪傑譚

四拾七篇

書肆
地本
問屋

二 休草紙

拾五篇

芝神明前

一 夙俗淺間嶽

拾四篇

和泉屋

市兵衛

一 黃金水大盡盃

拾七篇

銀座四丁目

同支店

